



発行・編集／社会福祉法人 広島市社会福祉協議会  
2020年12月発行

〒732-0822 広島市南区松原町5番1号(BIG FRONT ひろしま 6階 広島市総合福祉センター内)  
TEL 082-264-6408 FAX 082-264-6416 (ボランティア情報センター直通)  
URL: <https://shakyo-hiroshima.jp/> E-mail: [voinfo@shakyohiroshima-city.or.jp](mailto:voinfo@shakyohiroshima-city.or.jp)

## 新型コロナウイルスに負けない取組～これからも地域がつながり続けるために～

新型コロナウイルスの影響が長引いていますが、このような状況下でも、地域では様々な取組が展開されています。「地域を元気づける取組」や「つながりを大切にする取組」など、いくつかの視点からご紹介します

### 応援金を活用し、地域に元気をプレゼント!

安佐南区 安西学区社会福祉協議会(以下「社協」という)では、今年度、地区内のほとんどの行事が中止になりました。そのため、子どものために何か企画できないだろうか、と役員で相談していたところ、花火の打ち上げが提案されました。

地区社協構成団体や8町内会に協力をお願いしたところ、どの団体にも「子どもたちや地域の皆様が喜ぶことなら、ぜひ協力したい。」と快く賛同していただき、地区内11団体が応援金を出し合い、全町内会からも協力してもらい、花火の打ち上げが実現しました。



▲(左から)天野事務局長、柿原会長

安西学区社協では花火の他にも、応援金を活用し、地区内の幼稚園、保育園、小学校、中学校に非接触型体温計を寄贈され、大変喜ばれたそうです。

### 地域のつながりを絶やさずに冒険あそび場『ワンダふるたパーク』

このまちにくらしたいプロジェクトが運営する『ワンダふるたパーク』は、「みんなが幸せに使える公園」をテーマに、西区にある古江西町公園で開催されています。今年度は新型コロナウイルスへの対策を整え、第1回を夏に開催しました。

このイベントは中学生メンバーが中心となり、毎回様々な



▲中学生を中心にまちづくりに取り組む市民活動団体です。



遊びのコーナーを企画しています。大人にもくつろいでもらえるよう、カフェコーナーもありますよ。協力者や参加団体も少しずつ増えています。「いつまでもこの地域で暮らし続けたい。」と思えるような地域づくり、これからも応援しています!

### 地域を支えるために助け合い活動の継続!

南区 大河地区社協のボランティアバンク「ひまわり」は、コロナ禍でも助け合いの活動を継続しており、草取りや季節物の入れ替え等を行っています。

コロナ禍の前は、相談窓口で一緒にお茶を飲みながら、生活の困りごとを聞くなどしていましたが、現在は密を避けるために、電話のみで困りごと相談や受付対応を行っています。

「ひまわり」の委員長の對尾(つしお)さんは「電話相談・受付だけでも続けることが大事。本当に困ったときにお願いできる・頼れる場所がいつも地域の中にあるんだということが普通の暮らしの安心感にもつながると思います。」と話されます。



▲相談窓口の様子

10月からは住民主体型生活支援訪問サービス実施団体としても活動されることとなり、今後ますます地域の助け合いを推進されます。

### 認知症に優しい地域づくり講座をオンライン開催

西区 井口台地区社協では、井口台・井口地域包括支援センター、広島市認知症アドバイザーの木田さんと協力し、「わが町の認知症応援団!!『認知症に優しい地域づくりを考える』講座」を通常の会場参加に加えて、Zoomを活用し、オンラインでも参加できるようにして開催されました(会場参加20名、オンライン参加6名)。

初めての試みではありましたが、「会場には多く集まらないけど、オンラインでもいつも通り地域の人々と一緒に勉強ができた。」と、好評だったとのこと。

地域活動にオンラインの方法も加えることで、プラスαの参加の選択肢ができ、「日頃から集まりづらい人や集まらない状況を改善すること」につながります。地域の担い手が不足する中、これまで以上に色々な人が地域活動の中で「つながる」きっかけにもなっていけばいいですね。



▲会場の様子



▲講師の木田さん(右下)

## 企業の社会貢献活動を応援します!!

**マツダ株式会社** 作業所製品 (広島市就労支援センター・社会福祉法人もみじ福祉会) の販売コーナー、ウエス<sup>※</sup>材料 (衣類・タオル等) の提供

マツダ株式会社からコロナ禍の中、お役に立てるような社会貢献活動を一緒に考えてもらえないかという相談が本会へ寄せられました。相談をする中で、今年度は新型コロナウイルスの影響で、地域のイベント等が軒並み中止となり、作業所に通う障害者の方々が作ったお菓子や雑貨等の販売機会が失われている状況が続いていること



についてご説明しました。そこで、マツダ株式会社より、社内 (府中町) に売店を設置していることから、作業所製品の販売コーナーを新設してはどうかと提案いただきました。

た。販売コーナーが設置されると製品の売上げも好調で、作業所に通う障害者の方々も「うれしい。」「商品を作る制限をしなくて良いのでありがたい。」と喜んでおられます。

また、コロナ禍でもできるボランティア活動として、ウエス材料を収集され、従業員から募った布類約226kgを作業所へ寄贈されました。

本会では、これからも企業の社会貢献活動を応援していきます。これから社会貢献活動を始めたい、福祉をテーマにした社員研修を実施したい等のご要望がありましたら、お気軽に本会ボランティア情報センターにご相談ください。

※ウエスとは、家庭から出る古着・タオル等をさまざまな大きさに切って使用する機械器具類の清掃に用いられる布のことです。



◆この記事に関する問い合わせ先◆ ボランティア情報センター TEL 082-264-6408 FAX 082-264-6416

## ひろしま避難者の会「アスチカ」



東日本大震災発生から10年の月日が経とうとしていますが、現在でも中国地方へ1,422名、広島県へ292名の方々が避難を余儀なくされています (復興庁調べ: 2020年9月9日現在)。ここでは、広島市を拠点とした避難者支援を行っている『ひろしま避難者の会「アスチカ」』の取組を紹介します。

「アスチカ」とは「明日へすすむ力」という思いを込め、東日本大震災・原発事故の影響で広島に避難した方々が、生活基盤や気持ちを整え、次のステップに進むためのサポートを行う当事者団体として2012年10月に設立。現在の会員数は103世帯335名となっており、設立時から常時300名以上の会員が登録をされています。

### ※アスチカの活動内容

#### 1. 「たねまく広場」の運営

2014年に事務所併設のコミュニティスペース「たねまく広場」をオープン。いつでもおしゃべりや相談ができ、様々な方たちと交流できる場となっています。



#### 2. 「交流カフェ」の開催

毎月第3土曜日に「いどばた交流カフェ」を開催し、避難者が安心して思いを語れる場・地域の方々との交流の場を設けています。偶数月は広島市、奇数月は広島市以外で開催しています。



#### 3. 会員同士の情報共有

メーリングリストを利用した情報発信や毎月1回発行し

ている会員専用の情報誌「アスチカとぴっくす」の配布等様々な情報を共有しています。

#### 4. 個別支援

会員の方には孤立防止のため定期的な連絡を取り、状況把握に努めています。ここ数年は会員世帯への戸別訪問にも取り組んでいます。

#### 5. 地域とのつながり

「たねまく広場」での交流や野菜販売等を通じて、地域とのつながりを大切にしています。

#### 6. その他

2016年からは福島県の県外避難者生活再建支援拠点を受託し、広島・山口・島根県の避難者支援にも取り組んでいます。

### ※今後に向けて

今後も拠点を維持しながら、地域や関係団体とのつながりを大切にし、会員に寄り添った支援を行っていきます。また、災害ボランティア記録等を収集することで、災害の経験を共有できる場づくりを目指して取り組んでいます。

#### アスチカ・たねまく広場の連絡先

〒733-0003 広島市西区三篠町2丁目15-5 TEL 082-962-8124 FAX 082-962-8125  
E-mail: hiroshima.hinan@gmail.com URL: hiroshimahananshanokai-asuchika.com  
オープン日時▶毎週月・火(第3のみ)・水・金・土曜(祝日休み) 10:00~16:00

◆この記事に関する問い合わせ先◆ ボランティア情報センター TEL 082-264-6408 FAX 082-264-6416

## 令和2年度 広島市社会福祉関係者 表彰式を開催しました

本会では毎年、「広島市社会福祉大会」を開催し、福祉活動に永年の功績のあった方に対し、厚生労働大臣表彰、市長表彰、市社協会長表彰を行っています。

今年は、個人291名と、19の団体が表彰を受けられました。受賞された皆様おめでとうございます。

今回はコロナ禍の開催となったため、従来の規模を大幅に縮小し、受賞者の参加も代表者のみとするなど、感染症対策を念入りに行ったうえで、11月27日（金）広島市総合福祉センターにて「令和2年度広島市社会福祉関係者表彰式」として開催しました。

ご協力いただいた皆様ありがとうございました。

来年は通常通りの開催ができることを心より願っています。



◆この記事に関する問い合わせ先◆ 【総務課 庶務係】 TEL 082-264-6400 FAX 082-264-6437

## 令和2年度 成年後見制度普及講演会

11月14日（土）、一般市民を対象に成年後見制度の普及啓発を図ることを目的として、成年後見制度普及講演会を開催しました。

認知症や知的障害、精神障害などにより判断能力が不十分な方が、住み慣れた地域で安心して暮らしていく



ために利用できる制度の1つとして、成年後見制度があります。

今回はこの成年後見制度の中で、誰にどのような支援をしてもらうか、あらか

じめ契約により決めておく「任意後見制度」をテーマとして、講師に社会福祉士の原本明美先生をお招きし、任意後見制度の仕組みや利用方法、どのようなことを取り決めておくか良いのかなどについてご講演いただきました。

新型コロナウイルスの感染症対策として、手指消毒と検温を実施し、密を避けるために参加者数を会場定員から大幅に削減し開催しました。その結果、定員を超える参加申込があり参加をお断りした方もいらっしゃいました。

参加された方々は熱心に講師の話に耳を傾け、大切なところ、気になるところをしっかりと書き留めておられました。今回の講演会でいただいた意見を活かし、今後も成年後見制度の普及に向けて取り組んでいきたいと思えます。

◆この記事に関する問い合わせ先◆ 【生活支援課 成年後見係】 TEL 082-264-6406 FAX 082-264-6437

## 令和3年度広島市シニア大学入学生募集の取りやめのお知らせ

新型コロナウイルスの感染拡大を防止するとともに、学生の皆様の健康と安全を考慮して、今年度のシニア大学は全講座を中止しました。

それに伴いまして、今年度は全学生を留年として扱うこととしましたので、例年2月に募集していました、次年度

（令和3年度）の入学生募集は取りやめることとしましたのでお知らせします。

入学を希望されていた皆様には大変申し訳ありませんが、ご理解いただきますようお願いいたします。

◆この記事に関する問い合わせ先◆ 【地域福祉推進課 事業係】 TEL 082-264-6404 FAX 082-264-6413

**赤い羽根共同募金へのご協力をお願いします。**

今年で74回目を迎える共同募金運動は、新型コロナウイルスの感染拡大により、開始行事の中止など、例年と異なるスタートとなりましたが、10月1日から、町内会・自治会並びに関係団体の皆様の多大なご協力を得て、運動に取り組んでいます。

ご協力いただきました募金は、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、様々な地域福祉の課題解決に取り組む民間団体への活動資金や、毎年のように発生する大規模災害時の支援にも、有効に活用されています。

今年は、新型コロナウイルスの感染拡大を受け、様々な影響があると思いますが、衛生面にも配慮し募金活動に取り組んでまいりますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。



**問い合わせ先 広島市共同募金委員会**

TEL 082-264-6400 FAX 082-264-6437  
〒732-0822 広島市南区松原町5-1 BIG FRONT ひろしま6階  
広島市総合福祉センター内

**まごころ銀行へのご協力ありがとうございます。**

本会まごころ銀行に、次の皆様から尊いご寄附をいただきました。厚くお礼申し上げます。

【令和2年7月1日～9月30日（順不同）】

● **一般寄附預託者**

そごう・西武労働組合広島支部 様  
リーディングサービス広島 様  
市本 一正 様



● **物品預託者**

【車いす】株式会社ツルハグループ ドラッグ&ファーマシー西日本 様  
【体操DVD】 毘沙門台学区社会福祉協議会 様

皆様からお寄せいただいた浄財は、高齢者・児童・障害者の福祉など明るい地域社会を築くために活用させていただきます。

この記事に関する  
問い合わせ先

【総務課 庶務係】

TEL 082-264-6400 FAX 082-264-6437

**社会福祉法人 広島市社会福祉協議会賛助会員を募集しています**

本会の活動にご賛同いただき、「賛助会員」としてあなた（貴社・団体・個人）も地域活動に参加してみませんか。納めていただいた賛助会費は、身近な地域で福祉のまちづくりを進める地区（学区）社会福祉協議会の活動等で使わせていただきます。

**賛助会費** 法人 1口 10,000円 個人 1口 1,000円

※口数は何口でも結構です。

※本会は社会福祉法人ですので、個人の場合は「寄附金控除」「住民税額控除」、法人の場合は「法人税法上の損金算入」ができます。

◆この記事に関する問い合わせ先◆ 【総務課 庶務係】 TEL 082-264-6400 FAX 082-264-6437

**日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償!!**

令和2年度

**ボランティア活動保険**

**全国200万人  
加入!!**

**保険金額・年間保険料（1名あたり）**

保険金の種類		プラン	基本プラン	天災・地震補償プラン	
ケガの補償	死亡保険金		1,040万円		
	後遺障害保険金		1,040万円(限度額)		
	入院保険金日額		6,500円		
	手術 保険金	入院中の手術		65,000円	
		外来の手術		32,500円	
	通院保険金日額		4,000円		
賠償責任	地震・噴火・津波による死傷		×	○	
	賠償責任保険金 (対人・対物共通)		5億円(限度額)		
年間保険料			350円	500円	

団体割引20%適用済/過去の損害率による割増引適用

**<基本プランに加入される方へ>**

基本プランでは、地震・噴火・津波が起因する死傷は補償されません。

**◆災害ボランティア活動の参加は、「天災・地震補償プラン」への加入をおすすめします。**

※被災地でのボランティア活動では、予測できない様々な事態が想定されます。二次被害への備えとしても、あらかじめ「天災・地震補償プラン」に加入いただきますと、より安心してボランティア活動に参加いただけます。

<http://www.fukushihoken.co.jp>

ふくしの保険

検索

商品パンフレットは  
**コチラ**  
(ふくしの保険ホームページ)



**ボランティア行事用保険**

(傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

**送迎サービス補償**

(傷害保険)

**福祉サービス総合補償**

(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

● このご案内は概要を説明したものです。お申込み、詳しい内容のお問い合わせは、あなたの地域の社会福祉協議会へ ●

**団体契約者 社会福祉法人 全国社会福祉協議会**

〈引受幹事〉 損害保険ジャパン日本興亜株式会社 医療・福祉開発部 第二課  
TEL: 03(3349)5137

受付時間: 平日の9:00~17:00(土日・祝日、12/31~1/3を除きます。)

損害保険ジャパン日本興亜は、関係当局の認可等を前提として、2020年4月1日に商号を変更し、「損保ジャパン」になります。

**取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス**

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F

TEL: 03(3581)4667 FAX: 03(3581)4763

営業時間: 平日の9:30~17:30(12/29~1/3を除きます。)

この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

(SJKN19-12918 2020.2.10 作成)

◀ 広報紙「ひろしま市社協通信」に関するご意見・ご感想や取り上げてほしい内容等をお聞かせください。

広島市社会福祉協議会  
ボランティア情報センター

〒732-0822 広島市南区松原町5番1号 広島市総合福祉センター (BIG FRONT ひろしま6階)

TEL 082-264-6408 FAX 082-264-6416 E-mail: voinfo@shakyohiroshima-city.or.jp

電話・FAX・ハガキ・  
メールでご回答ください